

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	1	選択
担当教員			
永井 正幸, 青谷 理子, 堅田 京子, 永井 淳子, 中川 美穂, 門田 成夫			
火2			
添付ファイル			

科目の概要	子ども達に音楽の楽しさを伝えるための方法について教授する。子どもの歌や器楽合奏、楽典など子どもの音楽に必要な知識や技術を多角的に研究、応用を含めた実践力を高めることを目的として授業を展開する。ピアノ演習では、個々の進捗に応じたグレード別課題曲（ソナチネ・ソナタアルバムなど）を学ぶ授業を行い、基礎技能の確認と発展的な演奏表現について教授する。
授業の内容	<p>第1回 本科目の説明、楽典(音程) 授業の進め方について、学習目標の説明、楽典（音程について復習を含めて学ぶ） 保育・教職現場で歌われる楽曲の教材研究曲については、「幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育」及び「2011年改訂版 教員養成課程 小学校音楽科教育法」に収められている楽曲の中から、各自選択する。</p> <p>ピアノ週では、以下の本学ピアノグレード課題曲を進度に合わせて学ぶ ピアノグレード課題曲の範囲 グレード1～4：バイエル3番～105番まで複数曲 グレード5～7：ブルクミュラー、ソナチネアルバムⅠ巻・Ⅱ巻から複数曲 グレード8～9：ソナタアルバムⅠ巻・Ⅱ巻から 複数曲 グレード10：自由曲</p> <p>第2回 ピアノ課題曲(譜読み) グレード課題曲から、進度に合わせて選択された楽曲の譜読みを行う。</p> <p>第3回 楽典(音階)、子どもの歌(教材研究曲の選択) 保育・教職現場で歌われる楽曲を1曲選択し、教材研究に取り掛かる。 聴音を行う他、コードネームや楽典(音階)を学ぶ。</p> <p>第4回 ピアノ課題曲(効果的な練習方法の研究) グレード課題曲より選択された楽曲の練習を進める。</p> <p>第5回 楽典(調性・コード)、子どもの歌(教材研究曲の文献研究) 教材研究曲として選択された楽曲について、研究の進捗状況を発表する。 楽典では、調性や調判定について学ぶ。コードネームを練習する。</p> <p>第6回 ピアノ課題曲(試験曲の選択・譜読み) グレード課題曲より定期試験曲を選択し、譜読みを進める。</p> <p>第7回 楽典(和音・コード)、子どもの歌(教材研究曲の練習) 聴音を行う他、コードネームを練習する。楽典では、和音について復習を含めて学ぶ。 教材研究曲の練習を進める。</p> <p>第8回 ピアノ課題曲(試験曲の演奏技術について) 試験曲について、演奏上の技術的課題を見出し、練習を進める。</p> <p>第9回 合奏に向けて、子どもの歌(教材研究曲のまとめ・レポート提出) 合奏に向けて簡易楽器の使い方を確認する。教材研究曲のレポートを提出する。</p> <p>第10回 ピアノ課題曲(試験曲の曲想表現) 試験曲について演奏表現上の課題を見出し、練習を進める他、発展的な演奏技術について学ぶ。</p> <p>第11回 器楽合奏① 器楽合奏曲として「ブンブン」 「ぞうさん」に取り組む。グループに分かれて練習を行う。</p> <p>第12回 ピアノ課題曲(試験曲の通し練習・暗譜) 試験曲を暗譜で演奏できるように準備する。</p> <p>第13回 器楽合奏② 器楽合奏曲として「アイアイ」 「アンパンマンのマーチ」に取り組む。グループに分かれて練習を行う。</p> <p>第14回 ピアノ課題曲(試験曲の仕上げ) 試験曲について、曲想表現や演奏技術の最終確認を行い、全体の構成をまとめる。</p> <p>第15回 器楽合奏③、子どもの歌(教材研究曲の試演) 器楽合奏曲として「アンパンマンのマーチ」に取り組む。グループに分かれて練習を行う。 定期試験に向けて、教材研究曲の試演を実施、最終確認を行う。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育及び教職現場で歌われる楽曲について、楽曲成立の背景や歌詞・曲の構造を研究することにより、実技における表現力を高めることができる。 ・各種楽器を使用した器楽アンサンブルの楽しさを、子ども達に工夫しながら伝えることができるようになる。 ・ピアノ演習では、ソナチネ・ソナタを演奏できるようになる。

授業の方法	実技形式。楽典・器楽合奏・子どもの歌の教材研究などを行う授業とピアノを学ぶ授業を交互に行う。2教室を使用する。
成績評価の方法	実技試験(定期試験)、レポート及び平常点による評価。 割合は定期試験(弾き歌い40% ピアノ40%)・レポート10%・平常点10%とする。
教科書・テキスト	「幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育」 神原雅之 鈴木恵津子 監修・編著 教育芸術社 「2011年改訂版 教員養成課程 小学校音楽科教育法」 有本真紀 阪井恵 山下薫子 編著 教育芸術社 「ソナチネアルバム1 標準版」全音 「ソナタアルバム1 標準版」全音
参考書	特に指定しない。
授業時間外の学修について(事前・事後学習について)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育及び教職現場で歌われる楽曲について、文献資料を調べること。 ・楽典の復習を怠らないこと。
履修上の留意事項	五線譜を準備する。 器楽Ⅰ～Ⅳを履修済みであること。
オフィスアワー	木曜日2限
担当教員への連絡方法	4-603 研究室 大学メールアドレス：m-nagai@osaka-aoyama.ac.jp
その他	